



臨：北田秀人さん

新年明けましておめでとうございます

初春を迎え、皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。
今年酉年です。とりは十二支のひとつ、これに陰陽五行の十干が組み合わせられて干支(えと)といい、その年を表していました。今年の干支は丁酉(ひのと)です。

酉年は「とりこむ」に繋がることから、そこから運氣もお客も

取り込み、商売繁盛に繋がる年になると云われています。

七福神とは、「恵比寿、大黒天、毘沙門天、弁財天、布袋、福祿寿、寿老人」の七体の神の総称で、幸運を招いてくれると云われています。昨年は、シャープには神も仏もないのかと思いましたが、今年は大挙してやって来てくれそうです。

Page Guide

私の今日この頃

8ページ



自分らしい 人生を送る

野村哲夫さん
(No. 1024)

「絵と山」は人生に欠かせない存在、「絵画同好会」「チャーチル会」で活躍、更には日本山岳会関西支部の企画する登山を楽しむ同、「スケッチ同好会」で講師を務め、八十路を迎えて気力も充実「自分史」をスタート。

- 新年のご挨拶 真会長 北田・植田副会長 2ページ
- シャープ 戴社長 新年のご挨拶 輝けるグローバルブランド“SHARP”の実現に向けて 3ページ
- 「～のつながりで集う」 電子レンジOB会 4ページ
- 第241回「歩こう会」 「創業者 早川徳次翁 縁の地を訪ねて」 5ページ
- WE LOVE SHARP 「買ってくださいシャープ製品」 6ページ
- 私の近況短信、新入会員紹介等 7ページ



ひとり言

起死回生の一打

あけましておめでとうございます。今年こそ、社友会の仲間と会社にとって、素晴らしい年でありますよう心からお祈り申し上げます。

ここ2~3年、社友会の仲間にとって、これほど辛く、情けない思いをした経験はありません。シャープも100年を超す歴史の中には、幾度か厳しい経営状態に陥ったことがありました。創業者の早川徳次は、社員のリストラに号泣し、以後リストラはしないと誓いました。

それがどうでしょう!今のこの目に余る有様。会社の経営には当然好不況の波はあります。大赤字を出せば事業の再編、資産売却、人件費の大幅削減も必要です。こんな時、これまでのシャープはヒット商品を創出し、経営危機を乗り越えてきました。シャープはメーカーです。

独創商品なくして会社の再生などありえません。商品を創造する力の源は社員のモチベーションにあります。経営幹部が大声を張り上げようと、社員にやる気がなければ、会社の再生など夢のまた夢。そんな矢先に「本社売却の話が飛び込んできた」シャープはこれで死んだと思った。

シャープの本社はただの本社ではない。OBにとっては、創業者の志と夢が宿る「聖地」である。ところがその聖地「田辺工場」をふたたび買い戻してくれると云う。涙が止らなくなるほど嬉しかった。

「起死回生の一打」とは、まさにこれだと思った。これでシャープは再生してくれる。戴社長に感謝!……合掌

HKひでと

新年のご挨拶



シャープ社友会
会長 眞 康雄

新年あけましておめでとうございます。
 昨年は8月に鴻海精密工業より投資を受け、戴社長が
 着任されすぐに全社員に会社の目指す方向と方針を明
 示され、会社再建がスタートしました。

拠点、子会社、人員、調達、流通、等の構造改革に
 即、着手され原価力を高め、一方では将来に対する布
 石にも順次手を打ち、早くもこの下期には黒字の決算
 見込との発表が有りました。

さらに、Be Original. 即ち、創業者早川徳次が残
 した「誠意と創意」の精神を『原点(オリジナル)』
 として受け継ぎ、さらには「人に寄り添い、新しい価
 値を提供し続ける企業」になるとした、新コーポレー
 ト宣言も発表されました。こうした会社の決意を確認

し、明るい気持ちで新年を迎えられた事、皆さんと共
 に喜びたいと思います。

是非、この勢いでV字回復を成し遂げられるよう期
 待をしております。

社友会も今この時期こそWE LOVE SHARPで会社
 を応援したいと思います。

既にご案内の通り、会社からは諸先輩への感謝の意
 を込めて「謝恩祭」と銘打って「特選品」を準備頂い
 ております。是非この特別価格のチャンスを生かして
 購入頂けるよう格別のご協力をお願い致します。

さて、社友会事務所は、八尾市の健康・環境システ
 ム事業本部内の厚生棟2階に移動となりました。部屋
 の前は広い食堂で1日1度は集まる社員に「明るく楽
 しい社友会」の情報を伝え交流を進めて行きたいと思
 います。

そしてこれを機会に「社会貢献活動」「同好会活動」
 に加えて新たな取り組みを企画し「新生社友会」を目
 指して参りたいと思います。

是非、提案、並びに社友会活動への積極的な参加を
 お願い申し上げます。

本年も会員皆様のご健康とご発展をお祈り致します。



シャープ社友会
副会長 北 田 秀 人

初春を心からお慶びを申し上げます。昨年はこれま
 でになく忙しい一年でした。一度やった町会長を仰せ
 つかつたり、社友会の副会長に奉りあげられたり。それ
 でも何とかなるだろう!と思っていたのが、ドッコイ
 そうは問屋をおろしてくれません。

町会の方は築100年以上たつ七軒長屋を役所から危
 険と云われ取り壊しの大工事をするハメに。

社友会の方は永年使い続けてきた事務所の移転だ。
 この会報「ゆう」の発行も、会社の社内報発行日に合
 わせようと二転三転。来年は着実に活動していきたい
 と願っています。昨年、シャープはこれで終わりか!
 と本気で思いました。すると、会社時代にやり残して
 きた宿題が気になってしかたありません。

それはシャープの社史、百年史の発行です。

必要な材料は三年以上かけて収集し、編集の企画案も
 ほぼ出来上がった段階で、予算の目途が立たず作成は
 見送り。簡易なダイジェスト版に変更されました。

創業以来、世界初・日本初の独創商品を次々と創出し
 てきたシャープ100年の歴史は、世界の生活文化の歴
 史でもあります。その歴史を社史としてきっちり残せ
 なかったのが悔やまれてなりません。社業回復のあか
 つきには、もう一度100年史編纂を提案させて頂き
 たいと思っています。資料が残っている今の内に……。



シャープ社友会
副会長 植 田 英三郎

西年の新しい年を迎えましたが、昨年は予想外のこ
 とが続いた年でした。イギリスのEU離脱に続いてアメリ
 カの大統領選挙でも事前の世論調査とは違う結果が出
 ました。日本経済への影響も、当初の悲観論から正反対の
 期待論で株価や為替相場は動いています。いつ、吹き返
 しの反動が出てくるかは不明であります……。

シャープの経営はちょうど1年前、連日社会面・経済
 面を賑わした時期から比して、やっと落ち着いて仕事に
 取り組める状況になったようですが、世間の見立てでは
 シャープ復活の道はなお平坦ではないようです。

その予想を覆すような本年度の復活を願うところで
 あります。多くの有為の人材が流出したと言われていま
 す。真に呼吸を合わせたチームの強さを示して欲しいも
 のです。

ところで、社友会の活動の方向も一つの転機かもしれ
 ません。社友会の活動の柱である同好会活動は新しい会
 員を迎えるための魅力を加えると共に、もう一本別の柱
 を立ててはと思っております。

それは入社年次や職場の括りで社友会の活性化のため
 の仕組みが出来ないかということでもあります。定年退職
 者の中で新規入会者の比率が下がり、将来が憂う事態
 だけにこのような視点での活動の方向性を模索してはと考
 えます。

シャープ 戴社長 新年のご挨拶

シャープ株式会社
社長 戴 正 典

輝けるグローバルブランド“SHARP”の実現に向けて

社長の戴正典です。
新年、明けましておめでとうございます。
平素より当社の事業活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私は、昨年8月の社長就任以降、ビジネスプロセスの抜本的な見直し、徹底したコストダウン、信賞必罰の人事の導入など、8月21日に経営基本方針で明示した抜本的な構造改革を、矢継ぎ早に断行しています。こうした取り組みを耳にされ、「シャープはどうなってしまうのだろうか」と不安に感じているOBの方々もいらっしゃるかと思います。

しかし、全ては、何としても早期黒字化を果たし、皆様が築き上げられてきたシャープを再生するためです。

既に中間決算発表で、2016年度下期には3年振りに当期純利益を黒字化すると公表していますが、2017年にまずなすべきことは、このステークホルダーとの約束を有言実行することだと考えています。そして、私たちの約束、目標を実現する。すなわち“有言実現”することで、お客様をはじめとしたステークホルダーの信頼回復に全力を尽くしてまいります。

こうした短期的視点での取り組みを進める一方で、中長期的には、一刻も早く、本格的な成長軌道へと転じ、輝けるグローバルブランド“SHARP”へと飛躍していくことを目指しています。

そのためには、長年に亘って、当社の成長の原動力となってきた、創業の精神を取り戻すことが、近道であると確信しています。こうした考えを対外的に約束するとともに、従業員の自己変革を促すことを狙いに、昨年11月1日に新コーポレート宣言“Be Original.”を宣言しました。

“Be Original.”には、2つの意味を込めています。一つは、早川創業者が残した「誠意と創意」の精神は、これからも変わらない「私たちの原点（オリジナル）」であること、そしてもう一つは、「人に寄り添い、新しい価値を提供し続ける企業」として、様々な独自商品・サービスを通じて、お客様一人ひとりが自分らしさを実現できる、「あなたのためのオリジナル」を創り続けることです。

従業員一人ひとりが「誠意と創意」に溢れる仕事を積み重ねるとともに、“One SHARP”を合言葉に、

シャープが有する幅広い技術・事業の総合力を発揮し、お客様から評価される独自の商品・サービスを次々と生み出していくことにより、再び輝きを取り戻していきたいと考えています。

具体的には、ユーザーの身の回りの機器が連携し、一人ひとりの好みや状況に合わせて、自動的に作動したり、知りたい情報をタイムリーに提供するなど、身近な機器が繋がってユーザーの生活全体に寄り添っているようなシャープならではのIoTの世界、「スマートホーム」「スマートオフィス」を始めとしたスマートな社会を実現していきます。

また、こうした取り組みを進めるうえでは、お客様とのメンバーシップを作っていくことが非常に重要だと考えています。当社には、当社商品やサービスをご愛用いただいている数多くのお客様や、当社を応援して下さる数多くのステークホルダーがいらっしゃいます。まずは、こうした方々とのメンバーシップを作り、継続的に特長ある商品やサービス、さらには、将来的に「スマートホーム」「スマートオフィス」を提案していきたいと考えています。

既に、社友会の皆様には、当社商品を特別価格でご購入いただける「謝恩祭」のご案内をするなど、改めて、シャープとの繋がりを深めていただくための試みを開始しております。この先、具体的なメンバーシップ構想が固まった折には、是非、社友会に入会されていないOBの方々へもお声掛けいただき、積極的にご参画いただければ幸いです。

最近、当社に対する外部の見方、対応は、確実に変化してきています。“Be Original.”の取り組みに期待する声の高まり、取引先との交渉力を取り戻しつつある“強いシャープ”の復活、有力企業からの協業要請の増加などが顕著になりはじめており、私はV字回復に強い手応えを感じています。

2017年は、この流れを掴みとり、そして“有言実現”を積み重ねることで、従業員や社友会の皆様を始めとした全てのシャープに関わる方々と、喜びを共に分かち合える“シャープ復活の年”にしてまいりますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、社友会の皆様の益々のご健勝をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



電子レンジ事業に携わった仲間たち

第13回電子レンジOB会

長い間、一緒に仕事をしてきた職場の仲間は、やはり忘れがたい存在です。昔の同僚と旧交を温めておられる方が沢山います。

私たちは電子レンジの事業に携わった誇り高い仲間の集いです。ご存知の様に我社の電子レンジは国産第一号を創出し、業界初の色々な機能を開発搭載、シェアNo1を誇った時期もあり、会社経営にも多大な貢献を果たしてきました。毎年勤労感謝の日(11月23日)になんば「敦煌」に67人が集いお互いの近況や昔話で旧交を温めました。



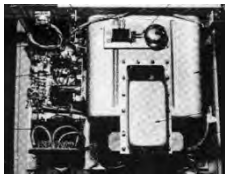
第13回 電子レンジOB会

平成28年11月23日 於 中国新名菜 敦煌

■ 電子レンジ1億台 世界初の快挙からの集い

2005年(平17)4月21日付の新聞各紙に「世界初。電子レンジ1億台：シャープ生産43年」なる見出しの文字が躍っていた。昭和37年に1号機を生み出して以来、営々として築き上げてきた快挙を報ずる記事であった。

既に会社を離れていたが、電子レンジという時代を画する新しい調理器に関わってきた一人として、この商品を生み且つ育ててきた方々と等しく喜びを共にしたいという思いから、部門を問わず「OBとして1億台を祝う会」を開催するのが初めての集いでした。



仕上がり報知装置

■ “レンジでチン”して 55年

今では手軽に手に入る電子レンジも、開発当初は専用の部品は世に存在せず、部品メーカーや商社のカタログを片手に代替品を求めて全国を飛び回ったものである。

昭和37年に業務用電子レンジを日本初で商品化し、数年後には年間生産台数も数百台から数千台に伸びてきた時、初めて使った店の方から、従来の調理器と違って仕上がりが早すぎて、うっかりしているとせっかく温めた食品が冷めてしまうとの声が寄せられた。

音で仕上がりをお報せできる方法とは考えを巡らせていたそんなある初夏の一日、数十人の若い男女が自転車屋で借りた自転車で、サイクリングすることになり、チリンチリンとベル音を響かせながら街を走り抜けていた。

この小さなベル音が街の喧騒の中でも結構人々の耳を惹いているのを見て、“これだ”!と思いついた。

そこで後日、自転車屋さんでベルの仕入れ先を紹介してもらい、アルミ製の音が気に入り、早速これを組み込んだ装置の開発に取り組んだ。ベルの鉄芯を電磁石のON・OFFで“チン”という音を出す仕組みである。

昭和42年、要望の強かった業務用に搭載すると大好評。

続いて翌年発売の家庭用第2弾R-601に組み込むと、加熱中は食品が目に見えるターンテーブルと加熱終了時は“チン”と耳に聞こえる報知機能により他社との差別化で高いシェアを取る事ができた。更に昭和54年SMCAを皮切りにSUKM、SATLと世界4大生産拠点で増産体制を確立。シャープを代表する白物家電となっていく。当時は使い勝手を良くするサービス機能と思っていた“チン”が、後年レンジ加熱の代名詞になろうとは夢にも思わなかった。今なら「流行語大賞」にノミネートされるようなものだ。その時の開発精神は今なお“ヘルシオ”などに脈々と受け継がれている。(藤原 康宏さん記)

— 私の思い出 —

◎ 稲田 支郎 さん

私が担当した時は電子レンジの隆盛期でありました。平野工場二階に4本の生産ラインを持って、三階には技術部門を持つ調理システム事業部となり300万台、500万台、800万台累計生産記念式典が行われたことを昨日のように思い出されます。私が赴任した英国レクサムでは世界No.1と言われ、シャープは電子レンジの代名詞になっていました。

◎ 畑中 孝義 さん

42年前、平野工場にあった電子レンジ技術部に配属されました。諸先輩方にご指導いただき、初めて自分で描いた図面が部品となり、生産ラインで組立てられ、量販の店頭と並んでいる商品を見た時の感動は今でも忘れられません。

電子レンジの普及で生産台数も右肩上がりとなり、その後、生産が海外へと移行し、タイ赴任も経験できました。良い時代を過ごせたと感謝しております。

◎ 萱村 準一 さん

絶えず業界をリードする電子レンジの品質業務に携わり、一言で言えば辛いことも多かったが楽しい充実した時代を過ごさせて頂きました。

未知の新技術商品の品質作りやGE初め海外大手OEMからの厳しい品質・信頼性要求に苦難な道のりもありましたが、家族のような事業部の中で全部門一枚岩になり新製品を出荷した時の喜びは今でも忘れられません。

◎ 西尾 良一 さん

生産部では、全社に先駆け、全員参加の「QCサークル活動」が活発に行われていました。グループで問題点を見つけ、パレート図や特性要因図等のQC七つ道具を駆使し、解決策を見出し、改善する連続した活動でした。日科技連の「近畿支部長賞」を受賞したグループもありました。活動もさることながら連帯感を強く感じた事を記憶しています。



◎ 川原 清吾 さん

電子レンジの事業部には30年以上お世話になり本当に沢山の思い出があります。1980年代に英国販売会社SUKに駐在、電子レンジが急速に普及していく中、非常にアグレッシブな攻勢で不動のトップシェアを築いた事、また、日本市場で高付加価値商品の流れを作ったヘルシオ1号機の開発に携わった事等、非常に良い経験をさせて貰いました。一方、米国出張ニュージャージ(SEC)で9.11事件に遭遇、一週間弱身動き出来なかった事もありました。

私と同好会のたのしい仲間たち

個人の同好会との繋がり・楽しさ・面白さを紹介します。



第241回 歩こう会 創業者 早川徳次翁 縁の地を訪ねて

2016年10月25日 於:旧シャープ本社前

■ 参加者89名で縁の地を巡る

関東大震災で全てを無くし負債清算の為に大阪に移住後、シャープの礎を築かれました。昨年10月「歩こう会」はオープン参加で東京からの方も含め89名で「天下茶屋」から「南田辺」まで全行程 8.3 kmをしっかりと歩きました。

●コース

天下茶屋駅～相生通り～万代池公園～ご自宅前～シャープ特選工業～組合会館で昼食～早春寮～元 育徳園～現 育徳園～いくとくⅡ～阿倍野青年センター～法楽寺～JR 南田辺駅

■ 大阪最初の居住地から早川邸へ

天下茶屋を出発、関東大震災の東京から大阪に移住され最初に住まれた場所である相生通りを散策。万代池公園で暫し休息の後、早川邸に向かいました。

現在ご自宅は徳次翁のお孫さん家族が生活されています。玄関先で奥様のお出迎えをうけ、お庭まで拝見させて頂きました(予期せぬ事態に大感激)大通りに面した玄関横には「早川徳次」の表札が今も掲げられていました。



早川邸とお庭の「ライオン石」

■ シャープ特選工業

徳次翁8歳の時、養子先でお世話になった盲目の女性に対する感謝の思いより障害者の社会経済活動への参加と 雇用促進を目的に1950年、日本で最初に認定された特例子会社です。電子部品の組立、金属加工を中心に障害者の雇用の場として設立され、現在では最先端のデジタル機器等の精密部品の組立をしております。「何かを施す慈善より障害者自身で仕事をし自助自立できる環境をつくるのが福祉につながる」という徳次翁の信念のもと、戦争で失明された軍人の為に設けられたプレス加工工場が前身となっています。

■ 育徳園保育所と育徳コミュニティーセンター

組合会館で昼食休憩をとり午後からの出発は生憎の雨、早春寮の前を通り育徳園へ。保育所は1952年5月にテレビの特許契約のために渡米した際、米国の社会福



育徳園保育所



徳次翁胸像



「日々努力何冀」徳次翁書

社に感銘を受けた徳次翁が、共働きの家庭の子供たちの遊び場、保育の場を作ってあげたいと帰国後すぐに設立したものです。仕事で多忙な時期でも時々訪れ、子供たちと触れ合っていたそうです。育徳コミュニティーセンターには、創業者の色紙や著書、シャープペンシル、胸像があり20名程のグループに分かれて集合写真を撮りました。

■ 日本社東側での集合写真

今は空き家の旧日本社と田辺ビル。どちらも看板は残っており、もの悲しい思いがしました。長池公園側で参加者全員の記念撮影。「いくとくⅡ」(高齢者デイサービスセンター)、阿倍野青年センターの前を通り最後の目的地である「法楽寺」に向かいました。(徳次翁は早川福祉会館(1962年9月開設)・阿倍野青年センター(1969年設立)にそれぞれ7千万円・3千万円を寄付されています)

■ 徳次翁の眠る「法楽寺」

法楽寺は、東住吉区山坂にある真言宗泉涌寺派大本山の寺院で紫金山小松院法楽寺、通称「たなべのお不動さん」とも言われ親しまれています。伝承によれば、源平の戦乱で戦死した平家と源氏の霊を平等に弔うために、源義朝の念持仏であった如意輪観世音菩薩を安置し、壮麗な伽藍が営まれたことが起源とされています。早川家のお墓があり、徳次翁も眠っておられます。お墓に手を合わせ、お参りさせて頂きました。



早川家は法楽寺の檀家で、住職は徳次翁と幾度もお食事をご一緒される程の親しいお付き合いがあり、徳次翁との逸話を紹介頂きました。

徳次翁は「お布施」と書かず「幸分」と書かれたそうで「中身が少ないのでは?」と住職が言うと「今の幸せ分や」と切り換えされたとか……

最後に住職から、徳次翁の思いできっと会社は再建出来ると励ましのお言葉を頂きました。

■ 創業者の声が聞こえる

「何冀」負けてたまるか！
日々努力「何冀」の気概で必ず陽はまた昇る……
誠意は人の道、創意は進歩、大切に下さいよ～
会社経営の傍ら社会福祉に多大な貢献をされた創業者のそんな声が聞こえてきそうな一日でした。

(記 歩こう会 世話役 楽得 功)

◆◆ 買ってくださいシャープ製品 ⑦ ◆◆

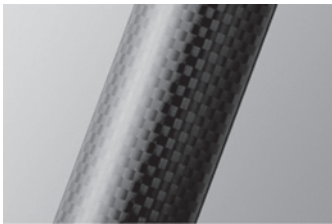
～新発売のイチオシ商品をご紹介します～

おすすめ
1

超軽量 コードレス掃除機 RACTIVE Air

気になる所を サツとお掃除できます。

ドライカーボン採用、超軽量 1.5kg を実現！



パイプ部には、軽量性と堅牢性の求められる飛行機やロケットなどに使われる軽くて強いドライカーボンを採用。
パイプ部の厚みを約1/2にまで薄くして、大幅な軽量化を実現しました。

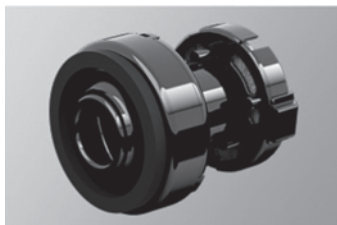


おすすめ
2

本格サイクロン並のハイパワーを実現！

軽量コードレスなのに、微細なハウスダストまで、強力で吸い込みます。

大風量ターボモーター



掃除機の基本性能である吸引性能を追求、大風量モーターの採用で、強力パワーを実現しました。

遠心分離サイクロン



ごみと空気を強力で遠心分離。フィルターの目詰まりを抑え、強力パワーが持続します。

おすすめ
3

本体 着脱式、セパレート充電方式 採用！

たっぷり使えて、充電時間は短く！



急速充電
80分※1

ご使用の目安
最長30分/強 8分



階段や、車のお掃除も、
強カパワーでしっかりスピーディに！



バッテリーを本体から外して充電するので、
コンセント付近の場所も取りません

バッテリーの
交換もカンタン

※1 充電時間は周囲温度、使用条件などによって異なります。

こんな掃除機が欲しかった！
の声にお応えして、12/8新発売！！

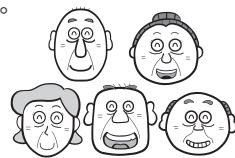
超新製品

コードレス スティックサイクロン掃除機

EC-A1R (P)/(Y)

私の近況短信

あの人は今…会員の皆様からお寄せ頂いた個人の近況をご紹介します。
(紹介してほしい人がいれば編集室まで) (2016年11月取材)



前川 淳さん (684)

私が「そりゅう会」(川柳)へ入会したのは、発足2ヶ月目でした。爾後十七年川柳をこよなく愛しかつ楽しんでいきます。趣味は他に、社交ダンスや野菜作りにも励んでおり頭と身体の両方を使うことになり、健康維持に役立っております。

五島 治さん (1214)

日頃は体力維持のため、週2回ボーリング教室で練習に励みます。知力維持には、ビデオ作品の編集に勤めています。(題材は旅行やビデオ同好会の取材映像等)最近は、ドローンからの空中撮影にチャレンジ中です。

中田晴基さん (5139)

小生は、釣り同好会で趣味として楽しんでいます。毎朝1時間あまりの散歩から始まります。今住む地域には大きなため池が点在し、遊歩道が整備されており散歩に最適です。今年10月からはシルバー人材センターに登録し週2回簡単な管理の仕事を始めました。

前田正明さん (372)

昭和60年2月26日48歳の時、脳内出血で倒れ右半身マヒの身体障害者となりました。(我が家の2.26事件)早期退職して現在80歳。車椅子ながら毎朝6時に妻と共に近くの公園へ出かけて朝の新鮮な空気を吸い、妻がしている太極拳の仲間の輪に入れてもらっています。

山崎 孝さん (3252)

家庭菜園、インターネット、自作PC作成、海外旅行に出かける等、毎日元気にやっています。また、社友会のパソコン同好会、将棋クラブに所属し、交流を深めています。同好会に参加して残りの人生を楽しむ事をお勧めします。

水越真次さん (6251)

退職して3年弱でやっと今の生活に慣れてきた所です。今は、これまで出来なかった九州旅行に行ったり、市の教室に参加したり、社友会の歩こう会や歴史探訪に参加しています。次はまた別の目標にチャレンジしたいです。

荻田倫明さん (754)

悪性リンパ腫の治療が終了して満十年、足腰の痛みは少しあるが健康です。

81歳になり先日、運転免許の更新も無事終了。当分注意怠りなく運転継続のつもり。他、ダンス、写真、パソコンなど趣味多く多忙な毎日です。

三ツ井正之さん (5585)

平成23年定年退職後、天理市写真教室での出会いから写真を趣味として始めました。今では、SSフォトクラブと写真倶楽部ふじた会の仲間に入れてもらい、写真を楽しんでいます。

竹本一男さん (3291)

定年後11年が経過。退職時より午前中夫婦で自宅近くの狭山池(一周約3Km)を散歩するのが日課となっています。雨の日以外は、真夏でも真冬でも歩いています。午後は孫の相手が多忙な日々を送っています。

志葉 武さん (3838)

退職して25年。今は、絵手紙教室月2回(社友会と大阪府高齢者大学)、油絵は毎週1回、山登り月2回と熊野古道大阪天満橋から和歌山那智の滝まで歩いています。今になって楽しい人生です。

藤田宏祐さん (2727)

SSフォトに入会以来、四季折々の景色やイベントに誘われ、カメラを提げて出かけています。お陰で行動範囲も広くなり歩数も増えて健康維持に役立っています。

吉川幸三さん (4045)

私の退職後の健康管理に心掛けている事について紹介します。治療より予防に、休肝日の設定。適度な運動(低目の計画設定で達成感を得る)。月1回の歩こう会の参加では直近5年連続の皆勤賞を頂いています。



社友会新入会員

2016/10月~2016/11月

所属	No.	氏名	所属	No.	氏名
本部	6548	江川 龍太郎	本部	6554	赤川 大
本部	6549	岡村 直樹	本部	6555	足立 芳彦
本部	6550	西 晴男	本部	6556	梯 克己
東京	6551	浅井 洋介	東京	6557	小澤 馨
東京	6552	畔野 和彦	東北	6558	佐藤 健一
中部	6553	福井 政次			

ご冥福をお祈りします

2016/10月~2016/11月

所属	会員番号	お名前	享年	ご逝去日
広島	6257	松本 泰昌	62	平成28年 5月22日
本部	2332	中川 伊志巳	79	平成28年 9月19日
栃木	5223	宍戸 栄	65	平成28年 9月27日
本部	2944	小村 誠也	72	平成28年 9月28日
広島	1191	徳永 文昭	78	平成28年10月 5日
本部	43	分島 武永	98	平成28年10月 5日
東北	3611	菊地 省造	76	平成28年10月10日
九州	1063	恒富 時三	79	平成28年10月16日
東京	1467	名淵 良三	80	平成28年10月22日
東京	809	万木 護	80	平成28年11月 9日
東京	1926	中根 廣治	75	平成28年11月15日
東京	92	福家 吉男	94	平成28年11月21日



編集室から

◆ 健康第一で充実した年となる為に

新しい年を迎え周りの人に感謝し、今年も「家内安全無病息災」を願うばかりですが、充実感が味わえる年にしたいものです。

そのためには「ゆっくり、のんびり、急かず、慌てず」の生活も悪くはないが、それではボケる心配があるので週2日に止め、後の5日は「何かする事がある・何処かに出かける用がある」を目指し行動したい。

大切なことは健康を保持し、私達に共有している「自由な時間」をどう過ごすかに掛かっています。

趣味や地域ボランティア、自分を高めたい事など色々あるが、心身共に健康で、生き甲斐を感じられることが大事と思う。そこで

◆ 同好会活動は生き甲斐を助成します

社友会では23もの「同好会」が活発に活動しています。未だ同好会活動に参加されていない会員が大勢いますが、一度友人を誘って「お試し」で入会参加してみても如何でしょうか? 新たな生き甲斐が生まれるかもしれませんよ……。 (F.N)

◎同好会へのお試し参加は下記へご連絡下さい。

◎連絡先…… シャープ(株) シャープ社友会 事務局

☎ 06-6794-8850 (直)

私の今日この頃



野村 哲夫さん
(No. 1024)

自分らしい人生を送る

■ 現役時の経験を活かして

シャープでは本当に良き仲間と素晴らしい仕事を共にする事が出来た。無事定年退職を迎えてからも知人に頼まれ、シャープでの経験を異業種で活かした。その会社が在社8年間で業界1位になって今も頑張っている。また母校の大学院(ビジネススクール)でも8年間シャープでの経験をもとに講義を担当した事は本当に良い体験であった。

■ 絵画と山登りで自己表現

現役の頃から趣味で「絵画」と「山登り」を続けていたが、それが今の自分らしい人生に活かされていると思う。

絵は子供の頃から取組んでいたが、深尾顧問から勧められて再開、「絵画同好会」にも入会した。

絵は描く人の個性が出て、自分で良いと思えばそれで良いので、上手下手では無いと思う。月一回の例会では主に風景を描き、後でワイワイやるのが何より楽しい！毎年6月に阿倍野ベルタで「同好会展」を開催している。



更に「チャーチル会」でも毎週描いている。同会は英国首相だったチャーチル氏が日曜画家だったので、ご本人の許しを得て、その名を冠した会が全国に出来、今年大阪で65年目の式典が行われる。

また、心齋橋大丸美術画廊での個展や、11月には心齋橋治園ギャラリーでの個展も10年続けて開催している。

■ 「山に登る」「山を描く」

現役の頃から休日の殆どは山に出かけ、北は北海道から南は屋久島まで、更に海外へも足を延ばし、ニュージーランドや欧州へ。その親しい仲間が日本山岳会員であったことから、同会主催のツアーに続けて参加した事もあり、日本山岳会に入会、その後も毎年欧州へ出掛けている。



「霧立つ劔岳」 F30号

日本山岳会関西支部でも会員の高齢化が進んでおり、元気な会員向け企画「ゆるやかな山行」が自分に合ったプランと思い、主に参加している。

その日本山岳会関西支部に山の絵を描く「スケッチ同好会」が出来、教室の指導を依頼され、メンバーもドンドン増え、「山に登る」喜びに加え「山を描く」2倍の素晴らしさを仲間と楽しんでいる。

昨年4月には大阪駅前第2ビルで「グループ展」を開催し、多くの来場者には驚いた。

また日本山岳会は上高地に山小屋を持っているので、5月に泊り掛けで描きに行き、今年4月にも合展開催を予定している。



■ 「自分史」に取り組む

私も早や八十路を迎え「絵」と「山」は私の人生に欠かせないものとなっている。

最近、社友会からの通知で同輩のみならず、若い方々が先立たれる訃報が多く、それだけに「自分らしく生きる」事を意識する様になった。

在りのままの自分から、過去を振り返り、「自分史」を作る事にした。家族も案外私の事を知らない事にも気付いて、パソコンで自分の生い立ちから記録してみた。忘れていた先生や友人の名前も暫くすると思い出して来て入力出来、元気な今の内に感じたままを記録する事に挑戦している。そして、これからの人生、どんな事でも人の役に立つ事であれば、出来る事は進んでやる事が良いのではないかと考えている。

■ 新シャープに期待して

会社は今、大変な時にある。既に新しい体制が動きつつあり、今後現役の人達は大変だろうが、シャープが創業以来培ってきたDNAを持ち続け「国際企業」として新しいシャープに発展させるのだという気概を持って欲しい。その取組には我々OB・OGは出来る限りバックアップして行きたいと真に思う。心から期待して・・・